

第3期「水の都おおがき」創生総合戦略（素案）について

1 趣 旨

本市では、人口減少や少子高齢化社会といった課題の解決に向け、活力ある持続可能なまちづくりを推進するため、『水の都おおがき』創生総合戦略』を策定し、地方創生の取り組みを進めています。

こうした中、国においては、昨年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、デジタル技術の活用によって、地方の取り組みを加速化させるとしています。

そこで、本市においてもこれまでの地方創生の取り組みを一層推進するため、新たに、デジタル技術の利活用に関する視点を取り入れた、「第3期『水の都おおがき』創生総合戦略」を策定します。

2 期 間

2024年度（令和6年度）～2028年度（令和10年度） 5年間

3 主な内容

(1) 人口展望

国の人口推計を踏まえながら、2060年（令和42年）の本市人口を15万人に維持することとします。

(2) 基本的視点

「人口の自然減・社会減への挑戦」とし、従来の取り組みにくわえてデジタル技術を活用しながら、安心して住み、働き、子どもを産み育てることができる、魅力のあるまちづくりを一体的に進め、人の流れの創出を図ります。

(3) 地域ビジョン及び基本目標

大垣市未来ビジョン第2期基本計画との整合を図るため、「選ばれるまち大垣」創造プロジェクトに基づき、地域ビジョン及び基本目標を設定します。

① 地域ビジョン

選ばれるまち「水の都おおがき」の創生

② 基本目標

1) 子育て日本一を実感できるまちづくり

子ども医療費や保育料の経済的支援のほか、母子保健サービスの充実や保育施設の整備、移住定住の促進を図るとともに、次代を担う子どもを育むため、デジタルに気軽に触れ楽しめる環境づくりなどを進めます。

2) 希望あふれる活力あるまちづくり

誰もが利便性の高い暮らしを実感できるスマートシティの実現を目指すほか、産業活性化等による地域経済の活性化、地域資源の活用等を推進します。

3) 安全で安心できるまちづくり

デジタル技術を活用した防災体制の強化や、公共交通の利用促進、市民の健康づくりなど、くらしの基盤となる取り組みを推進します。